



外国人受け入れ政策と

市の責任について

無党派 さの るみ

問 外国人住民の国民健康保険の未納や高額医療費の利用短期滞在者の利用事例の有無を伺います。

答（保健福祉部次長） 国民健康保険に加入している外国人の数は、令和7年4月1日時点で1053人、加入者全体の約4・6%を占め、その外国人加入者の未納については754件、未納額は約1億2900万円となります。外国人の未納についても日本人と同様、督促、催告、財産調査を行い、それでも納付のない方については滞納処分を行っています。

短期滞在外者については、国民健康保険に加入できない制度となつていますので利用事例はありません。

問 短期滞在外者が国民健康保険に加入できないことや高額医療費の実態は医療機関でないと分からないことについては制度上の建前に過ぎません。現実には制度の抜け道が存在し、治療目的や3カ月を超える滞在が見込まれるとして診療予約書を提出すれば、短期滞在外者でも住民登録が認められて国民健康保険に加入できてしまい、また在留資格の変更申請中という理由でも住民登録がされるケースがあります。市は国籍や在留資格別の国保給付履歴の分析や、制度利用の実態と未回収リスクの精査をし、運用ルールの見直しと必要に応じた国との情報連携の強化が必要と思いますが、現状認識と今後の対応方針について改めて伺います。

答（保健福祉部次長） 市では今のところ国民健康保険の短期滞在外者の加入事例はありませんが、外国人の加入者の不正利用の対策については、今後他市の事例を把握するとともに国などの動向に注視して適切に対応したいと思っています。



呼吸器感染症について

政進会 葉梨 之紀

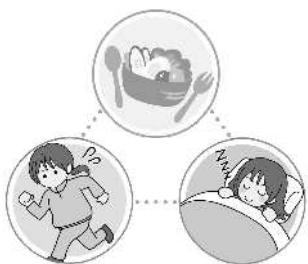
問 新型コロナウイルス感染症が蔓延してから丸5年、感染症法上の扱いが5類に変更されて2年がたち、世の中の緊張感が薄れているように感じますが、油断はできません。感染症は私たち宿主と病原体、感染経路の3つがそろったときに成立します。冬に呼吸器疾患が増えるのは、粘膜の乾燥などで私たちの抵抗力が低下し、気温低下で病原体が感染力を長く保つようになり、感染経路を遮断する換気などが不十分になるためですが、予防には感染経路を減らし、体内に入れる病原体の量を極力減らすのが王道です。空気感染、飛沫感染、接触感染が感冒の病原体が伝播する主な経路ですが、市民自らが感染症について理解し、感染経路を断つことに取り組んでいただくことが重要です。こうした点をどのように周知しているのか伺います。

答（市長） 感染経路の遮断にはマスクや手洗い、換気、咳エチケットなどの日頃からの習慣づけが有効ですので、市ではホームページなどで、市民に対して自ら行う感染予防についてご協力をお願いしています。感染症を引き起こす病原体はさまざまありますが、宿主の抵抗力を高めることが重要で、そのためには栄養バランスの取れた食事や小まめな水分補給といった基本的な生活習慣が大切です。

今後も、広報やホームページなどで効果的な感染症対策を周知するとともに、必要に応じてワクチン接種の環境を整備するなど、市民の健康で健やかな生活の維持増進に努めてまいります。

その他の質問

・地球温暖化と寒冷化について



議長コラム



公明党
戸澤 幸雄

市役所の芝生広場部分では公私連携型保育所の開所に向け今まさに工事が進んでおり、8月末には完成し、10月1日には開所予定とのことです。この事業は待機児童に対する市の緊急対策として取り組まれていること、また場所が市役所敷地内ということで非常に注目されています。また今回の定例会では、こどもセンターの隣地に新たに公私連携型保育所を設置する計画も明らかになりました。このように市が主導して待機児童、保留児童の解消に向けて取り組む姿勢は大変評価します。

今後も開発が進み、市民のさらなる増加が想定されますので、待機児童、保留児童の解消に向けて保育所の増設に関する事業を継続して進めていただき、若い世代にも支持されるまちになることを期待します。

監査委員コラム



政進会
森下 賢人

監査委員は、地方自治法に基づき地方公共団体の事務が適法性、効率性、経済性などの視点から適正に行われているか、公正不偏の立場で監査を実施することを職務とする独立した執行機関で、市長が議会の同意を得て、識見を有する者から2名、議員から1名を選任しています。

具体的には、年間を通して財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理を監査する定期監査、工事に係る財務事務や工事技術を監査する工事監査、毎月の市の現金の出納や保管の状況を確認し、出納事務が適正に行われているか検査する例月出納検査など8つの監査を実施しています。議員との兼務は大変な面もありますが、自治体の監査の重要性とそれを担う責任の重さを改めて感じています。今後より良い市政運営に貢献できるよう努めてまいります。